

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	614 つくば市環境審議会運営事業									
予算科目	01-040107-11 環境政策に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課			
市長公約							計画管理係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	環境基本法 つくば市環境基本条例 つくば市環境審議会条例					SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー			
							13気候変動に具体的な対策を			
							15陸の豊かさを守ろう			

事業の概要

対象	市民
目的	環境保全に関する条例や計画の策定、改廃の際に内容や原案について調査審議するため。
概要 (取組内容)	環境基本計画に掲げる関連施策に該当する事業の実績報告、進捗確認を行う。 つくば市環境審議会開催日程の調整、会議資料の作成を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	300	300	300	16,632	16,632	
	決算額	(千円)	82	144	129	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	82	144	129	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	706	1,448	1,589	3,697	3,697	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.20	0.20	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	8.75	35.00	85.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	市民委員参画により、環境審議会におけるつくば市環境基本計画令和4年度実績報告の評価・検証・公表。

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		環境審議会において、第3次つくば市環境基本計画の各事業の前年度実績に加えて当年度の計画や目標も報告することで、事業を効果的に進めることができるようにした。
成果		委員任期満了に伴い、有識者等12名、市民委員3名を委員に任命した。 第3次つくば市環境基本計画の令和4年度の実績報告等を行い、審議会委員の意見を各担当課へフィードバックして令和5年度の事業計画へ反映した。
課題	業務	特になし。
	組織、予算等	特になし。
改善目標		特になし。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	令和6年度は、第3次つくば市環境基本計画の中間見直しを予定しており、審議会の開催回数を増やすため。

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	615 つくば市環境白書作成事業									
予算科目	01-040107-11 環境政策に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課			
市長公約							計画管理係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	つくば市環境基本条例					SDGs				

事業の概要

対象	市民
目的	つくば市の環境の状況、環境保全に関する施策の実施状況を広く市民や事業者に公表するため。
概要 (取組内容)	前年度のつくば市の環境に関するデータやつくば市環境基本計画にある関連施策の進捗状況について、関係各課から取りまとめて作成し、ホームページにて公表する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	308	0	0	17	17
	決算額	(千円)	264	0	11	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	264	0	11	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	706	2,078	1,589	1,416	1,416
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.30	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	8.75	14.00	85.00	14.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()				
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		他の業務量の増加により白書の公表が年度末となり、前年度の課題である時期を早めることに対応出来ない。
成果		昨年度の様式に改良を行い、第3次つくば市環境基本計画の実績や市内の現況を記載した令和4年度版環境白書を作成し、市ホームページに公表した。
課題	業務	市ホームページへの公表が年度末となってしまったため、他の業務との遂行を調整し、公表時期を早める必要がある。
	組織、予算等	特になし。
改善目標		令和6年度は9月末までに公表できるよう着手時期を早める。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	616 環境基本計画進行管理事業									
予算科目	01-040107-11 環境政策に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課			
市長公約							計画管理係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	第3次つくば市環境基本計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等	つくば市環境基本条例					SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー			
							13気候変動に具体的な対策を			
							15陸の豊かさを守ろう			

事業の概要

対象	市民、市職員									
目的	目指すべき将来像「豊かなつくばの恵みを未来につなぐ持続可能都市」の実現に向けて、環境施策の実効性を確保するため。									
概要 (取組内容)	第3次環境基本計画に掲げる関連施策に該当する事業の目的・目標について、関係各課に事業進捗管理調査票の提出を依頼し維持管理を行う。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	21	23	23	17	17	
	決算額	(千円)	6	13	11	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6	13	11	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,410	1,460	1,589	11,294	11,148	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	1.60	1.60
		正職員時間外勤務	(時間)	17.50	40.00	85.00	100.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	市民委員参画により、環境審議会におけるつくば市環境基本計画の令和4年度実績報告の評価・検証・公表。

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		これまで、審議会の議題を環境基本計画の前年度事業報告のみとしていたが、令和5年度審議会においては、当年度事業計画を議題に追加した。また、前年度の課題を踏まえ、前年度の事業実績と今年度の目標設定等の時期を2か月ほど前倒しし、令和4年度中に各担当課へ作成を依頼した。
成果		6月末に環境管理委員会を開催し、環境基本計画の昨年度事業実績、評価及び今年度事業計画に対する意見聴取を行った上、8月の環境審議会にて計画進捗状況の評価を行った。審議会で頂戴した意見は、下半期以降の取り組みへ反映するよう、11月の環境管理委員会でフィードバックを行った。
課題	業務	審議会の開催が8月頃であったため、今年度から事業計画を議題に加えて開催したが、委員意見の反映が下半期以降となっている。
	組織、予算等	特になし。
改善目標		次年度は、審議会を4月、5月頃に実施し、環境管理委員に対し迅速に次年度事業の実施に関する委員意見をフィードバックすることで効率的なPDCA循環を図る。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	617 つくば市役所環境負荷低減事業									
予算科目	01-040107-11 環境政策に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課			
市長公約							計画管理係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	期間限定複数年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	12つくる責任つかう責任			
							13気候変動に具体的な対策を			

事業の概要

対象	市職員									
目的	つくば市役所が行う事務事業からの環境影響を継続的に少なくするため。									
概要 (取組内容)	各部等の次長級で構成される環境管理委員会を開催し、つくば市役所における環境に関する計画の策定・改定や施策の進捗を管理、環境に関する施策の審議を行う。加えて、ISO14001で管理対象となっていた環境法令について、逸脱がないよう法令順守を徹底する。また、グリーン購入を推進することで間接的な環境影響を小さくする。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	814	902	28	33	33	
	決算額	(千円)	628	640	26	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	628	640	26	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	706	1,485	1,589	1,504	1,504	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	8.75	50.00	85.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	環境管理委員会の開催回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0
	実績	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	0.0
	指標の概要	生活環境部長を委員長とし各部等の次長を構成員とする環境管理委員会について、各年度必要な回数を開催することで、庁内各部等への環境に関する課題や施策等の共有を図る。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		昨年度まで職層を限定して実施していた環境法令研修制度について、既存の研修資料を整理して電子書庫に掲載し、関係する職員は誰でも閲覧できるようにした。また、法令順守を徹底するため、環境法令に関する情報やグリーン購入に関する情報を課メールで周知した。
成果		環境管理委員会を3回実施し、環境基本計画及び地球温暖化対策の進捗管理を行った。また、国の改定に合わせ令和6年度グリーン購入「調達の手引き」の改定と周知を行った。
課題	業務	環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の目標達成に向け、進捗管理方法等を見直す必要がある。
	組織、予算等	特になし。
改善目標		環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の進捗管理方法やその評価方法について整理を行う。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	618 クリーンエネルギー機器等購入補助事業									
予算科目	01-040107-23 低炭素な街づくりの推進に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課			
市長公約							推進係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）					事業期間	毎年度			
根拠法令等	つくばクリーンエネルギー機器設置事業補助金及びクリーンエネルギー自動車購入補助金交付要綱					SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー			
							09産業と技術革新の基盤をつくろう			
							11住み続けられるまちづくりを			
							13気候変動に具体的な対策を			

事業の概要

対象	市民									
目的	機器設置費用の一部を補助することで、クリーンエネルギー機器を普及させ、家庭部門におけるCO2排出削減を図り地球温暖化防止に寄与する。									
概要 (取組内容)	クリーンエネルギー機器設置及びクリーンエネルギー自動車購入者を対象に、補助金を交付する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	12,000	12,000	27,200	22,300	0	
	決算額	(千円)	10,610	11,700	13,260	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	50	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	3,100	3,900	4,100	0	0
		その他	(千円)	7,510	7,800	9,110	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,125	4,611	3,896	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.75	0.65	0.55	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	75.15	40.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	有	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—									
企画・立案、計画	—									
実行	—									
評価、検証	—									

指標の推移

1	指標名	クリーンエネルギー機器補助件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	220.0	150.0	200.0	200.0	410.0	350.0
	実績	229.0	230.0	196.0	198.0	311.0	0.0
	指標の概要	クリーンエネルギー機器(蓄電池、燃料電池)の補助件数					

2	指標名	クリーンエネルギー自動車補助件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	45.0	21.0	43.0	43.0	23.0	22.0
	実績	17.0	15.0	24.0	78.0	13.0	0.0
	指標の概要	クリーンエネルギー自動車(電気自動車、燃料電池自動車、ビークルトゥホーム)の補助件数 ※令和5年度からクリーンエネルギー（燃料電池自動車、ビークルトゥホーム）の補助件数へ変更					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		補助金交付件数の実績に基づき、R5年度の交付件数を増加させた。 補助金申請者の事務負担軽減のため、提出書類の削減等の要綱改正を進めた。
成果		クリーンエネルギー機器設置者及びクリーンエネルギー自動車購入者に対し、補助金を交付することで、温室効果ガスの削減を図った。 省エネ補助事業の交付決定件数 蓄電池 301件（▲196t-CO2）、燃料電池 10件（▲12t-CO2）、V2Hシステム 13件
課題	業務	クリーンエネルギー機器については、既存の制度よりも、さらに市民が参画しやすく、かつCO2削減効果の高い新たな補助制度に改善する必要がある。 クリーンエネルギー自動車については、引き続きディーラー等へ情報を周知する必要がある。
	組織、予算等	国、県等の補助金制度を活用し、財源確保に努める。
改善目標		クリーンエネルギー機器については、有識者・市民の意見の調査・把握に努め、補助制度の見直しを行う。 。クリーンエネルギー自動車については、周知等に加え、移動式水素ステーションの営業曜日等の改善も働きかけるなど、充填設備・環境の拡充を企図する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	619 新エネルギー等普及促進事務									
予算科目	01-040107-23 低炭素な街づくりの推進に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課			
市長公約							推進係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー			
							12つくる責任つかう責任			
							13気候変動に具体的な対策を			

事業の概要

対象	市民、事業者、つくば環境スタイルサポーターズ会員									
目的	市民の環境配慮活動の意識啓発を推進し、学んだ内容を市民や事業者が実生活や事業活動で実践することにより、地域の温室効果ガス排出の抑制を図る。									
概要 （取組内容）	地球温暖化対策のためには、温室効果ガスの排出が少なく、環境への負担が少ない新エネルギーの導入が必要不可欠であるため、茨城県内の次世代エネルギーパーク見学会を開催することにより、企業等の最先端のエネルギーの取組を市民に体験していただき、環境意識の啓発を図る。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	286	169	169	50	50	
	決算額	(千円)	125	150	5	0	0	
	内 訳	一般財源	(千円)	125	150	5	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,075	2,724	1,395	0	0	
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.45	0.40	0.20	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	5.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	無	無	無	

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	0.0
	実績	40.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0
	指標の概要	次世代エネルギーパーク見学会の参加者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		次世代エネルギーパーク見学会の在り方を検討した結果、終了することとした。					
成果		—					
課題	業務	—					
	組織、予算等	—					
改善目標		—					

評価

市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	—	今年度で事業が終了する。
優先度	—	今年度で事業が終了する。

方向性

方向性	廃止					
理由	県内次世代エネルギーパーク施設見学は、市民ニーズ、事業内容及び費用対効果等を総合的に判断した結果、当初の目的を達成したと判断したため。					

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	621 EV等普及促進事業									
予算科目	01-040107-23 低炭素な街づくりの推進に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課			
市長公約							推進係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー			
							12つくる責任つかう責任			
							13気候変動に具体的な対策を			

事業の概要

対象	市民									
目的	EV等の低炭素車への転換を促し、自動車の走行に伴う温室効果ガス排出を抑制する。									
概要 (取組内容)	市域におけるEVの利便性の向上を図るため、市内3箇所（つくば市役所、筑波交流センター、荃崎交流センター）に設置した急速充電器の適切な管理を行う。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	3,737	4,099	4,182	2,313	0	
	決算額	(千円)	2,788	2,823	1,298	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,788	2,823	1,298	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人件費計	(千円)	2,050	21,452	3,877	3,454	0	
人件費	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	3.15	0.55	0.50	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	32.00	0.00	0.00
	会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無	

市民参加の取組状況

共有、理解	—									
企画・立案、計画	—									
実行	—									
評価、検証	—									

指標の推移

1	指標名	急速充電器利用件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6,000.0	6,200.0	6,200.0	6,200.0	6,200.0	6,200.0
	実績	6,347.0	6,267.0	5,285.0	3,746.0	3,317.0	0.0
	指標の概要	市内3箇所(つくば市役所、筑波交流センター、荃崎交流センター)における急速充電器の利用回数 ※市役所：故障により、R5.2月から急速充電器の稼働停止。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		市内３か所（つくば市役所、筑波交流センター、茎崎交流センター）に設置している急速充電器の老朽化に伴い、機器の撤去や更新等の手続きを進めた。
成果		市内３か所（市庁舎、筑波・茎崎交流センター）に設置したEV用急速充電器の維持管理を実施した。 筑波交流センター：（２月）設置済急速充電器の撤去及び新たな機器の設置。 茎崎交流センター：（６月～３月）急速充電器の更新のため、新たな急速充電器の設置場所の検討。
課題	業務	茎崎交流センター設置の急速充電器は、機器撤去後の設置場所を決定する必要がある。 つくば市役所設置の急速充電器は、機器撤去後の設置有無について検討する必要がある。
	組織、予算等	－
改善目標		茎崎交流センター設置の急速充電器は、機器撤去後の設置場所を決定する。 つくば市役所設置の急速充電器は、機器撤去後の設置有無について検討する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	2	国、県、民間等で事業を担うことが可能である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	625 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）推進事業									
予算科目	01-040107-13 地球温暖化対策に要する経費					担当部課	生活環境部環境政策課			
市長公約						係名	計画管理係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）					事業期間	毎年度			
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律					SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー			
							12つくる責任つかう責任			
							13気候変動に具体的な対策を			

事業の概要

対象	市民、事業所									
目的	市域における地球温暖化対策を推進し、温室効果ガス排出量を削減するため。									
概要 (取組内容)	つくば3Eフォーラムや企業、大学・研究機関、他自治体、県などと連携して、組織を超えた関係者による事業の検討、研究、企画等を進めて、つくば市域における地球温暖化対策を誘導する。 また、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の進捗管理を行う。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	279	241	9,939	403	403	
	決算額	(千円)	70	72	9,524	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	70	72	9,524	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	9,161	9,342	14,251	14,251	14,251	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.30	1.30	1.80	1.80	1.80
		正職員時間外勤務	(時間)	113.75	200.00	750.00	750.00	750.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	気候市民会議を開催し、無作為抽出で選ばれた市民50人が「ゼロカーボンで住みよいつくば市」を実現するためのアイデアを話し合い、提言書として提出された。
実行	
評価、検証	地球温暖化対策進捗管理懇話会を開催し、市民委員を含む委員各位から意見を聴取している。

指標の推移

1	指標名	新たな施策の検討 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	実績	0.0	2.0	4.0	3.0	3.0	0.0
	指標の概要	つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に掲載された施策の具体化を検討する。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		市域の様々な分野に渡る脱炭素化に向けて、市民や事業者の能動的な対策が促進できるよう、産業技術総合研究所との連携事業を実施するとともに、産業技術総合研究所、国立環境研究所、筑波大学との4者で協働して気候市民会議の設計・運営を行った。
成果		・無作為抽出で抽出した市民50名による「気候市民会議つくば」を全6回開催。 ・産業技術総合研究所との意見交換・相互連携事業として市長を含む意見交換等を複数回実施。 ・令和4年6月から開始したカーシェア事業の延長と事業拡大に向けた基礎調査等を実施。 ・地球温暖化対策実行計画進捗管理懇話会を開催し、適切な進捗管理を実施。
課題	業務	気候市民会議で策定された提言書について、漏れなくロードマップを作成するとともに、地球温暖化対策実行計画改定版に盛り込むことで実行に結び付ける必要がある。
	組織、予算等	市域の脱炭素排出割合の多数を占める市内研究機関と密な協議を行うためには現在の人員・組織体制では不足している。
改善目標		市内研究機関との協議を継続し、脱炭素化に向けた協働事業を継続するとともに事業拡大を図る。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	令和6年度は、つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定を予定しており、審議会内の専門部会を設置し、施策等について検討を行うため。

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	626 筑波山自然環境教育事業									
予算科目	01-040107-12 環境教育に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課 推進係			
市長公約	67									
戦略プラン	Ⅱ-6	1	2	体験型の身近な環境教育事業			新規・継続	継続		
	Ⅳ-4	4	1	持続可能な開発のための教育の推進			事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	一部委託		
個別計画	第3次つくば市環境基本計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	13気候変動に具体的な対策を			
							14海の豊かさを守ろう			
							15陸の豊かさを守ろう			

事業の概要

対象	市民
目的	市内の身近な自然環境について学ぶ機会を提供し、豊かな自然環境の保全に対する意識の向上を図る。
概要 (取組内容)	筑波山をはじめ里山、河川、市中心部に残された緑など身近な自然の良さについて知る機会や場を提供するため、観察会等を開催する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	1,747	1,422	1,450	1,641	1,641	
	決算額	(千円)	1,324	858	887	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,324	858	887	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,966	4,802	3,824	3,454	3,454	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.70	0.55	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	74.50	14.25	10.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	参加者へのアンケート
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	自然環境教育事業参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	114.0	41.0	82.0	216.0	278.0	0.0
	指標の概要	(個別施策Ⅱ-6-①身近な自然を楽しむ環境づくり) (個別施策Ⅳ-4-④低炭素化の推進) 自然環境教育事業への参加者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		委託事業者、つくば市環境マイスターの会、ジオパーク室と連携し、企画内容や企画名について検討した上で、ホームページやメール配信のほか、SNSを活用して情報を発信した。
成果		「里山ウォーク」（4/15 参加者14人）、「桜川稚魚放流」（7/7栄小：参加者42人、7/10栗原小：参加者59人、7/12秀峰筑波：参加者111人）、「葛城の森で虫探し！」（7/22 参加者14人）、「桜川探検隊（稚魚放流）」（7/29 参加者10人）、「桜川探検隊（クリスマスリース）」（11/18 参加者9人）、「冬の森でネイチャーウォッチング」（1/20 参加者8人）、「春の北条・平沢ジオウォーク」（3/3 参加者11人）
課題	業務	環境教育の実施内容や体験型のイベントの実施方法について、総合的に検討する必要がある。
	組織、予算等	—
改善目標		環境教育の実施内容、イベントの実施方法について検討する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	627 つくば市環境マイスター育成事業									
予算科目	01-040107-12 環境教育に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課			
市長公約							推進係			
戦略プラン	Ⅱ-6	1	3	次世代の担い手育成事業			新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	職員のみ		
個別計画	第3次つくば市環境基本計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー			
							12つくる責任つかう責任			
							13気候変動に具体的な対策を			

事業の概要

対象	マイスター認定者、市民									
目的	地域社会における環境活動のリーダー的役割を担う目的で育成した人材の活用を図る。									
概要 (取組内容)	既存の環境マイスター認定者の活用事業としてマイスター認定者が市の環境事業に関わることにより、マイスター認定者の活動の場を広げることで、環境活動のリーダー的役割を担う後押しをする。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	170	95	120	155	155	
	決算額	(千円)	39	41	85	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	39	41	85	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,408	2,105	2,443	716	716	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.35	0.30	0.35	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	6.25	25.15	10.00	10.00	10.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	1 級認定者の延べ人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0
	実績	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	0.0
	指標の概要	(個別施策Ⅱ-6-①身近な自然を楽しむ環境づくり) 1 級認定者数					

2	指標名	環境マイスター認定者活用事業の実施回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0
	指標の概要	「里山ウォーク」及び「アイラブつくば事業」等の実施回数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		つくば市環境マイスターの会と連携して、筑波山自然環境教育事業「里山ウォーク」の開催や、アイラブつくば事業の実施において、環境に関する啓発活動や活躍できる場等を提供した。
成果		筑波山自然環境教育事業「里山ウォーク」（1回）を実施した。 市民協働課実施のアイラブつくば事業において、つくば市民文化祭や筑波山ゲートパーク体験イベントに「筑波山すごろく」を展示した。 環境マイスターの認定について、マイスターの会と意見交換をした。
課題	業務	環境マイスター認定制度の見直しが必要である。
	組織、予算等	－
改善目標		環境マイスターの今後の在り方について、検討する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	620 つくば環境スタイルサポーターズ事業									
予算科目	01-040107-23 低炭素な街づくりの推進に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課 推進係			
市長公約										
戦略プラン	IV-4	1	1	食品ロス削減に向けた意識啓発		新規・継続	継続			
	IV-4	4	1	持続可能な開発のための教育の推進		事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
	特になし					SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー			
12つくる責任つかう責任										
13気候変動に具体的な対策を										
根拠法令等										

事業の概要

対象	市民									
目的	環境に関するイベント等の啓発活動を行うことにより、つくば環境サポーターズ会員を中心とした市民の環境意識の向上を図る。									
概要 (取組内容)	環境配慮に関する意識を高めていくため、つくば環境スタイルサポーターズ会員を中心に、市の環境関連情報の提供を行う。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	1,309	1,685	637	120	120	
	決算額	(千円)	682	385	126	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	682	385	126	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,826	3,440	2,085	704	704	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.50	0.30	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	17.00	14.30	5.00	5.00	5.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	サポーターズ会員数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	9,500.0	10,000.0	10,200.0	10,300.0	10,400.0	10,500.0
	実績	9,553.0	9,650.0	9,917.0	10,367.0	10,474.0	0.0
	指標の概要	(個別施策IV-4-①食品ロス削減に向けた意識啓発) (個別施策IV-4-④低炭素化の推進) 個人会員数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		イベントタイトルなどを工夫した上で、市ホームページやメール配信、SNSを活用して情報発信を行った。					
成果		メール配信：37回 ゴーヤ苗配布（事業所会員）：65事業所、1,100株 エコ・クッキング体験事業（市民向け）：3回（7月：参加者16人、8月：参加者16人、1月：参加者16人）					
課題	業務	—					
	組織、予算等	—					
改善目標		—					

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	622 コミュニティ型低炭素モデル街区整備事業										
予算科目	01-040107-23 低炭素な街づくりの推進に要する経費					担当部課	生活環境部環境政策課				
市長公約	79						係名	推進係			
戦略プラン	IV-4	4	2	低炭素なまちづくり（建物・街区）の推進			新規・継続	継続			
							事業分類	自治事務（任意）			
							事業体制	職員のみ			
個別計画	つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）						事業期間	毎年度			
根拠法令等	つくば市低炭素ガイドラインに基づく認定補助金交付要項						SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー			
								12つくる責任つかう責任			
								13気候変動に具体的な対策を			

事業の概要

対象	市民
目的	市域の低炭素化を図るとともに、低炭素社会づくりを先導する。
概要 （取組内容）	環境配慮型住宅の整備やHEMSを通じたエネルギーの可視化などを行う低炭素モデル街区を形成し、成果を発信することで、低炭素まちづくりの面的な普及促進を図る。 つくば市低炭素（建物・街区）ガイドラインに基づく認定事業を行い、補助要項に沿って補助金を交付する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	23,044	23,044	22,011	22,011	22,011	
	決算額	(千円)	21,800	22,200	14,111	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	22,200	14,111	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	21,800	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,139	3,872	3,479	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.75	0.55	0.50	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	5.50	51.35	10.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	低炭素モデル街区の街区数 (街区)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策IV-4-④低炭素化の推進) 環境配慮型住宅の整備やHEMSを通じたエネルギーの可視化等を行う街区。同一事業として行う複数区画のまとまりを1街区として当該目標年度に建築が開始された街区の数					

2	指標名	つくば市低炭素ガイドラインの認定住宅数 (戸)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	55.0	55.0	55.0	220.0	220.0
	実績	67.0	83.0	111.0	111.0	93.0	0.0
	指標の概要	つくば市低炭素ガイドラインに基づく低炭素住宅認定戸数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		令和５年度において、補助要綱の見直しを行い、補助金制度から交付金制度（奨励金）へ変更したことにより、手続き上の問題点が改善された。
成果		低炭素ガイドラインに基づく奨励金件数 戸建レベル３：93件 補助金から奨励金へ制度変更し、事後申請が可能となったことから利便性が向上したと好評を得た。ガイドラインの改定は、令和６年度改定「環境基本計画」、「地球温暖化対策（区域施策編）」及び「気候市民会議」で提案された内容等を踏まえ、令和７年度に改定することになった。
課題	業務	市民が経済的なメリットのためだけでなく、省エネを意識して自発的に脱炭素に取り組むよう、補助の周知を行う必要がある。
	組織、予算等	－
改善目標		周知の際には、単に補助制度や省エネ効果をわかりやすく周知するだけでなく、脱炭素に取り組むことが喫緊の課題であることを共有する。また、令和７年度地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改定に向けて、つくば市低炭素（建物・街区）ガイドライン改定の方角性を検討する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	623 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）推進事業									
予算科目	01-040107-13 地球温暖化対策に要する経費					担当部課	生活環境部環境政策課			
市長公約	79					係名	計画管理係			
戦略プラン	IV-4	4	3	公共施設の低炭素化			新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（義務）		
							事業体制	一部委託		
個別計画	第3次つくば市役所地球温暖化対策実行計画事務事業編（改定版）					事業期間	毎年度			
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律					SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー			
							12つくる責任つかう責任			
							13気候変動に具体的な対策を			

事業の概要

対象	公共施設
目的	つくば市役所の事務事業活動によって排出される温室効果ガスの排出量を削減する。
概要 （取組内容）	公共施設の脱炭素化を図るために、省エネ改修及び再エネ設備導入を促進する。また、エネルギー転換や排出係数が低い電力供給契約などを行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	3,880	41,289	79,213	63,085	63,085	
	決算額	(千円)	2,932	24,959	77,525	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,221	24,959	77,525	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	1,711	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,457	17,448	7,919	13,458	14,203	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.20	2.30	1.00	1.80	1.80
		正職員時間外勤務	(時間)	105.00	730.00	417.00	423.00	730.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	省エネ診断と再エネ調査実施件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	1.0	4.0	3.0	0.0	1.0	0.0
	指標の概要	省エネ改修や再エネ設備導入に向けて、公共施設を対象に省エネ診断又は再エネ導入調査を実施する。					

2	指標名	つくば市役所CO2削減量 (t-CO2)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	50.0	20.0	50.0	0.0	0.0
	実績	0.0	88.0	32.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	省エネ設備への更新やエネルギー転換などを行ない、公共施設の低炭素化を図る。 (つくば市役所地球温暖化対策実行計画改定に当たり、令和5年度からは指標3で事業評価を行う)					
3	指標名	つくば市役所温室効果ガス排出量 (t-CO2)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	49,358.0	47,791.0	46,224.0
	実績	0.0	0.0	0.0	53,251.0	50,159.0	0.0
	指標の概要	エネルギー消費や公用車の運行、廃棄物の焼却等により市役所が排出する温室効果ガスを削減する。 R4年度以降、排出量の算定方法を変更(焼却ごみのプラごみ比率を1年平均値から3年平均値に変更)					
4	指標名	推進会議の開催回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0
	実績	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0
	指標の概要	推進会議を開催し、2030年度温室効果ガス排出量削減の目標達成に向け、重点取組である照明のLED化、公用車のEV化及び太陽光発電設備導入の進捗確認等を行う。					
5	指標名	自己託送実施によるCO2削減量 (t-CO2)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	1,333.2	1,953.1	1,953.1
	実績	0.0	0.0	0.0	384.8	1,796.5	0.0
	指標の概要	自己託送により、電力の購入量を削減し、CO2排出量を削減する。開始時期：R4.10月					

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		推進会議を開催し、R5年度の市役所CO2排出量削減量や、重点取組である照明のLED化及び太陽光発電設備導入の進捗状況等を各部局長に報告・協議した。
成果		104の公共施設を対象とした太陽光発電設備導入調査を行い、導入の可能性が高い20施設について導入計画案を策定した。前年度に続き、つくばサステナスクエアの焼却施設で発電した電力を41の公共施設へ自己託送を行い、温室効果ガスと電力料金の削減に繋げた。LED改修及び太陽光発電設備導入見通し調書を作成し、各課の公共施設における導入状況等を取りまとめた。
課題	業務	蛍光灯の製造・輸出入が2027年までに廃止されるため、早急に照明のLED化を進めていく必要がある。
	組織、予算等	事業モデル次第では、LED設備や太陽光発電設備の導入に高額な初期費用が必要となることが想定される。
改善目標		推進会議及び掲示板等を通じて、公共施設のLED化の徹底を周知していく。 各課等へ太陽光発電設備の導入調査結果をフィードバックした上で、太陽光発電設備の導入方法の提案や導入の推進を図る。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続	
理由	—	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	148 脱炭素先行地域づくり事業									
予算科目	01-040107-13 地球温暖化対策に要する経費					担当部課	生活環境部環境政策課			
市長公約							係名	計画管理係		
戦略プラン	IV-4	4	3	公共施設の低炭素化			新規・継続	新規		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	職員のみ		
個別計画							事業期間	期間限定複数年度		
根拠法令等							SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー		
	09産業と技術革新の基盤をつくろう									
	13気候変動に具体的な対策を									
	15陸の豊かさを守ろう									

事業の概要

対象	脱炭素先行地域エリア内の需要家、住民、市民									
目的	2050年にカーボンニュートラル、2030年に46%削減目標等の実現に向け、民生部門の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現するため、つくば中心市街地に「脱炭素ドミノ」のモデル地区をつくるもの。									
概要 (取組内容)	環境省「脱炭素先行地域」として当市が選定された第4回選定（令和5年11月）時点では、延べ74件（2030年までに100件選定予定）が選定され、茨城県内では初の選定である。 令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）までの5年間に環境省からの交付金等による支援（交付率2/3）を受け、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）及び（事務事業編）で定められた公共施設・民間施設の脱炭素化に向けた事業を実施するもの。特に、既存共同溝を活用したマイクログリッドの構築や、地域資源を活用したバイオマス発電等により、対象エリアにおいて2030年までに脱炭素化を目指す。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	1,012	140,204	1,826,677
	決算額	(千円)	0	0	161	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	161	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	19,001	23,145	30,051
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	2.40	3.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	1,000.00	1,000.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	エリア内の電気由来CO2の削減 (t-CO2)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.9
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	脱炭素先行地域づくり事業実施計画に記載した当該年度の事業を実施することで削減される電気由来CO2の削減量					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		前年度の課題なし。
成果		令和5年8月の第4回に応募し、11月に選定を受けて以降、同月に共同提案者6者と連携協定を締結し、協力体制の強化を行いつつ、各需要家との合意形成状況を進捗させるとともに、選定委員及び環境省から通知されている計画遂行上の課題等への対応を行った。そのうえで、令和6年度（2024年度）からの本格稼働に向けて、実施計画書に記載した13事業について関係者との協議や制度設計等を行った。
課題	業務	各需要家との合意形成を完了するため、覚書を締結や補助金規則等を制定するとともに、公共施設の省エネ回収等に向けた各課等との調整を進捗させる必要がある。
	組織、予算等	13事業の実施に向けて、4人の担当者が他の業務と兼任して実施していることから、全体の調整を含めてスケジュール管理が難しいことに加え、業務が属人化しやすいことから今後は組織的な業務体制を構築する必要がある。
改善目標		環境省、各需要家、庁内関係部署との密な連携・調整をもとに、組織的な業務体制の構築を図る。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	エリア内の令和12年度（2030年度）までの脱炭素化に向けて、5年間の環境省からの交付金を活用し、計画に記載した事業を推進する必要があるため。	